

vol.48-10 (通算 547号)

2019年1月号

やどかり

2019年1月15日発行  
(毎月1回15日発行)1987年12月19日第三種郵便物認可  
発行人 公益社団法人やどかりの里  
代表者 土橋 敏孝

〒337-0043 さいたま市見沼区中川562

TEL 048-686-0494

FAX 048-747-7030

URL <https://www.yadokarinosato.org/>

定価 50円 (含会費)

## すべての人の健康と幸せを実現するために

2020年、やどかりの里は50年の節目を迎える。2019年6月には、さまざまなプロジェクトが立ち上がる予定である。その1つに呉秀三のドキュメンタリー映画「夜明け前」の上映活動がある。呉秀三が100年前に残した「我が国十何万の精神病患者は実にこの病を受けたる不幸の外に、この国に生まれたる不幸を重ねるものというべし」という言葉の重みは、100年経った今も変わらない。この映画を通して、多くの人にやどかりの里が何を伝え、何を共有し、どう社会を変える力にしていくのか、50周年に向けたやどかりの里の大きな使命でもある。

日本の精神医療改革には障壁がある。昨年12月には「裁判でしか精神医療の現状は変えられない」と、長野県で精神科病院による隔離政策は違憲だとして国を提訴した。真の改革のためには、精神保健福祉を特別な人の特別な問題にしないことが重要だ。

2018年2月、ベルギーの精神医療改革を視察し、その学習プロセスの中で、2017年12月20日付のEUCOMSによるコンセンサスペーパー（合意文書）と出会った。EUCOMSとは欧州地域精神保健サービス提供者ネットワークで、質の高い精神保健福祉サービスを地域で提供し、それをそれぞれの国の政策に反映させることを目的として2015年に発足した組織である。国を越えて、相互学習、相互支援、政策と実践の連携強化をはかっている。現在17か国、53組織が加入し、地域ケアのあり方を世界に普及しようとしている。

このコンセンサス・ペーパーの目的は、欧州およびその他の国々における地域精神保健の地域モデルの根拠となることである。そして、精神保健サービスを実践し、組織し、利用する人たちのために作成された、その内容は、精神の健康に問題を持つ人々のための地域を基盤とするサービスを効果的に実施するための明確な基準を示している。もちろん障害者権利条約に準拠することも求めている。多様な背景をもつ国々が存在する欧州で、地域ケアのあり方や方向性について合意された内容で、この合意文書が世界のスタンダードになっていくことは間違いない。

ベルギー視察団長でもある精神科医の伊勢田堯氏（こころのホームクリニック世田谷・東京都医学総合研究所）が、コンセンサス・ペーパーの日本語訳に尽力され、日本語訳がEUCOMSのホームページにアップされている。これを多くの人たちと共有し、日本の精神医療改革に活かさねばならない。

日本の精神医療の課題を、EU加盟国との連携、WHOメンタルヘルスアクションプランとの関係、そしてEUCOMSがまとめたコンセンサス・ペーパーといった世界の潮流の中で捉え、真の改革に取り組んでいく必要があるだろう。

精神医療改革はやどかりの里の使命であり、すべての人の健康を実現していくための重要な取り組みである。「やどかりの里の50周年の節目が改革の大きな転機につながった」と語れるよう、2019年をスタートしたい。